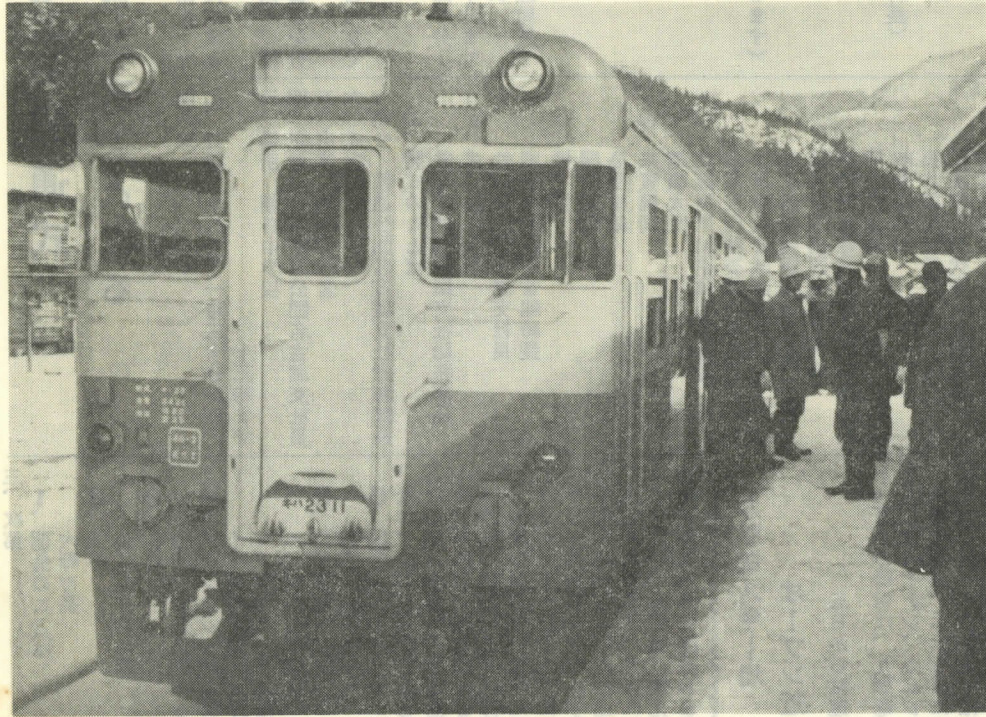


九頭竜湖駅に初列車

15日まで 練習運転

◇ 買収は明日の日本を 売る汚れ



26日九頭竜湖駅にすべりこんだ初列車 (キハ23型気動車)



発行所
福井県大野郡
和泉村
下穴馬 ☎ 912-02
中竜 ☎ 912-03

(昭和47年11月1日現在)

村の人口

出生	3人
死亡	2人
転入	10人
転出	13人
総人口	2,348人
男	1,219人
女	1,129人
世帯数	651世帯

村の面積

332.60 km²

今月の目標

今年もあわただしい師走となりました。各自が防犯、防火に注意しましょう。油断は大敵、外出や夜間の戸締りは厳重にしましょう。無理なお歳暮は、やめましょう。

「九頭竜湖駅」と決定

朝日の駅名が決まる

さきに国鉄や公団など関係機関に要望していましたが朝日の駅名がこのほど「九頭竜湖駅」と正式に決定されました。これは、本村には九頭竜湖があり、九頭竜という名称が、本村にとって観光面から欠くことのできないものであり今後さらに「九頭竜」といえば和泉、和泉といえは九頭竜」とのイメージをさらに深めたいためです。

有権者の資格

十二月十日に行なわれる衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査に投票できる人は十一月十九日現在の選挙人名簿に登録されている人です。選挙権のある人

(1)昭和二十七年十一月十一日以前に生まれ、引続いて三月月以上和泉村内に居住している人。

(2)昭和四十七年八月十九日までに転入し、住民登録をして、(1)にあてはまる人

(3)昭和四十七年七月十九日以後に村外へ転出した人

列車時刻表

勝原駅発 ~ 九頭竜湖駅	
下り	7時29分 → 7時50分
	13時43分 → 14時05分
	19時00分 → 19時29分
上り	8時05分 ← 7時54分
	14時21分 ← 14時10分
	19時45分 ← 19時34分

◇あの誘い この義理捨てて きれいな選挙

勝原〜九頭竜湖間開通式

実施要項まとまる

十五日開通される越美北線勝原〜九頭竜湖間竣工開通式の概要がほぼまとまりました。

当日は小、中学校も授業を休み、村挙げて六十年來待ちこがれた喜びを分かちあうことになりました。おもなスケジュールは次のとおりであります。

- 一、日時 十二月十五日(十時十分〜十一時二十分まで)
 - 二、場所 九頭竜湖駅ホーム
 - 三、主催 国鉄金沢鉄道管理局長
 - 四、式次第
 - 1、花束贈呈 越前大野駅長 運転手 贈る人 村内の三人の娘さん (下山駅でも花束贈呈をします)
 - 2、テープカット 国鉄総裁 鉄道建設公団総裁 福井県知事
 - 3、クス玉割り(沿線市町村長) 和泉市長 福井市長 大野市長 美山町長
 - 五、祝賀列車発車 九頭竜湖駅発十一時二十分
- 註、この間、福井県警察本部音楽隊(25名)が祝賀演奏をしてくれま
- 竣工式
- 越美北線勝原・九頭竜湖間しゅん工

開通式
二、日時 十五日十一時三十分から 十三時まで

三、場所 朝日中学校
四、主催 日本鉄道公団名古屋支社長
五、出席 約三〇〇名
六、式次第
司会 鉄道公団名古屋支社総務課長

①、開式のことば
鉄道公団名古屋支社総務部長
②、式辞
鉄道公団名古屋支社長
国鉄金沢鉄道管理局長
③、挨拶
国鉄総裁
公団総裁
④、祝賀詞
運輸大臣
衆議院運輸委員会委員長
参議院運輸委員会委員長
鉄道建設審議会々長
鉄道新線建設促進議員団会長
福井県選出国會議員代表
鉄道新線建設促進全国協議会長
福井県知事
岐阜県知事

⑤、閉式のことば
金沢鉄道管理局総務部長
祝賀会
一、日時 十五日十三時から 十三時四〇分まで
二、主催 越美北線開通促進期成同盟 会長

三、次第
1、開会のことば 大野市長
2、挨拶 会長福井県知事
3、乾杯
4、発声、中央来賓から アトラクション(郷土芸能) イ、奥越太鼓(大野) ロ、穴馬おどり(和泉) ハ、新吉原(和泉)
5、万才三唱
6、閉会のことば

なお、九頭竜湖駅はもとより、会場となる朝日中学校やその沿道には、アーチ、万国旗、三角旗など装飾をこらし、協賛行事として、旗行列、提灯行列、列車の到着と出発時には花火も打上げます。また翌十六日には午後一時から朝日中学校で午後六時から中竜会館で演芸があります。さらに朝日中学校では、珍石、特産品、観光写真、珍木等の各種展示会を開催します。

九頭竜スキー場 オープン近し

五日から試運転開始

十一月中の降雪は、九頭竜スキー場にとっては「イタシ、カユシ」の苦笑い今年はまだ、すべるのに支障のない程度と、第一リフトだけは完全に使用できるようにと、急ピッチで作業を急いでおります。

リフトの方は、管理塔、塔柱、ワイヤー張りも終り、座イスを取付けるだけで、五日からは試運転に入るにになりました。ゲレンデは、あと半月程の余裕がほしいが、少し早い降雪で、五十cm余の雪の中で重くらしいブルドーザーの音を

12月10日世界人権宣言記念日

12月4日から10日まで 人権週間

きたる十二月十日は第二十四回世界人権宣言記念日です。わが国では、とくに十二月四日から十日までを人権週間と定め、国際人権宣言の目的達成のため人権擁護活動や各種の啓発行事を行なっています。すべての人々が人権



をひびかせながら今日も整地作業を急いでおります。

今冬は先ず降雪の状態をみて、今月中にスキー場開きを、年末年始のスキーヤーを招きたい計画で、年次計画としてはスキー場開きには県内一流選手の間範試乗、スキー学校、パッチテストなど、このスキー場で開催できる範囲にとどめ、今冬の雪の状態を充分見極めて、施設の拡充、各種受入れ体制の整備を図る予定をしています。写真は完成近い第一リフト(三三〇m)

尊重について反省するとともに、人権の確立について決意を新たにしたいと、だくための週間です。

人権尊重とは一口でいえば、お互いに人間を大切にすることです。いうまでもなく私達人間は、この社会で一番すぐれた尊い存在です。人間の尊さをよく知りこれを大切にすることが人権尊重です。社会の平和も、個人の幸せもみな人権尊重から生まれます。わが国の憲法が国民に保障している基本的人権とは、人間の自由と平等の権利です。人間の自由は、私達の身も心も誰からも束縛されないことです。

人間には自由があつてこそ初めて生きがいがあります。しかし、人間の自由とは自分だけわがまま勝手をするものではありません。自由とはいってもそれは他人に迷惑をかけたたり、あるいは傷つけたりするものであつてはなりません。人間はみな平等で、人の値うちは誰も変りがないからです。

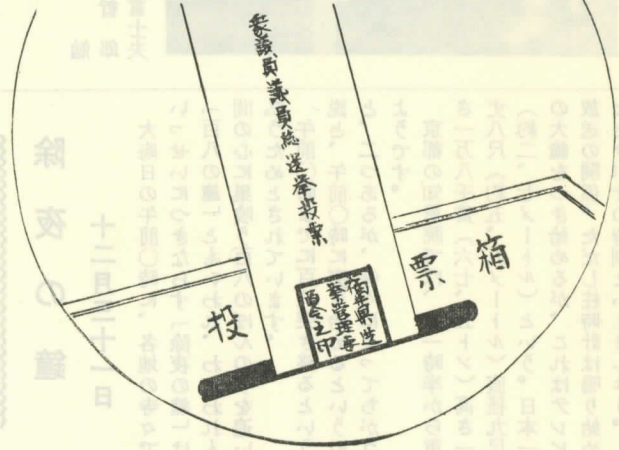
人権擁護とは、国民の自由と幸福を守る運動です。法務局や市町村の人権擁護委員は国民の人権擁護にあつて

います。不幸にして人権が侵されたり、あるいは不遇な生活に泣いている方がありましたら、最寄りの法務局か人権擁護委員に申し出て必要な救済を受けられるようおすすしめします。

- なお本村の委員は次のとおりです。
- 朝日 桜川 栄太郎
 - 上大納 谷口 市松
 - 川合 新井 千代子



投票日は12月10日です



十一月十三日解散された衆議院議員の総選挙は、十二月十日が投票日ととなり、八名の候補者が終盤戦にしのぎを削っております。

わたくしたちは、国や郷土をよりよく、豊かにし、生活をよりよくするために、有権者ひとりひとりが「明るく正しい選挙」を推進して棄権者をださないよう、有権者意識をもって投票しようではありませんか。あなたの、その一票が国の政治を動かすのです。

(開票は、十二月十日の午後八時から朝日小学校で行なわれます。)

投票はこのように

に、自分が投票しようとする候補者の氏名を自分で書いて下さい。

最高裁判所裁判官国民審査の投票は赤色の投票用紙に裁判官の氏名が印刷されています。やめさせた方がよいと思う裁判官についてはその氏名の上の欄にXを書いて下さい。やめさせたくない人は裁判官については何も書かなくて下さい。X印以外のものを書くは無効になります。

代理投票については、手や目の不自由な人、字を知らない人は、投票所へ行って代理投票を申し出て下さい。係の人が立合って書いてくれます。投票の秘密はかたく守られますから安心して申し出て下さい。

幸福を求める権利 この一票

主権者の誇りを 売るな この一票

村の青年たちが、早々と訪れた雪でお昼休みを利用して雪ダルマを作りました。誰かの発案で「主権者の誇りを売るなこの一票」のタスキを掛けたら、こんな立派な「明るい正しい選挙」推進の雪ダルマとなり、道を行き交う人々に無言の明正選挙を呼びかけてくれました。

(投票時間は次の図の通りです)

投票所及び投票所開閉時刻表

投票区名	投票所施設名	投票時間
第1投票区	朝日小学校	午前7時～午後6時迄
第2投票区	大納中学校	午前7時～午後5時30分迄
第3投票区	下山小学校	午前7時～午後4時迄
第4投票区	朝日小学校 日野小分校	午前7時～午後4時迄
第5投票区	朝日小学校 旧前坂分校	午前7時～午後4時迄

飲酒運転追放に全力

12月1日から年末年始の防犯運動「防犯で明るい年を迎えよう」

写真は無言ながら明正選挙をうったえる雪ダルマ



冬季道路除設計画決まる

主要道路を常時交通確保

本格的な降雪期を迎えるにあたり、大野土木事務所と和泉村において、除雪計画が次のとおり決定いたしました。積雪量が十五センチ～三十センチになりますと、直ちに除雪作業に入り、主要幹線の道路交通を確保することになっております。

除雪主要道路の順位は、第一次路線として、国道一五七号線(大野市・岐阜県境) 県道上大納・下山線(谷戸口・中電鉦山守衛所前)で常時二車線を確保する。第二次路線として、県道石徹白線(朝日・前坂間)を常時一車線を確保する。村道の除雪においても、強力に進める計画であります。

除雪についてのお願い

除雪作業を能率的、且つ効果的に進めるため、沿線の皆さんには次の事項を充分認識していただき、御協力をお願いいたします。

- (1) 道路わき、待避所等における障害物を取り除くこと、又消化栓、水道栓等には完全な標識を設けること。
 - (2) 道路に接近している家屋では庭木等が破損しないよう囲いをする。
 - (3) 屋根の雪降しは除雪前に行かないで責任者の指示に従うこと。
 - (4) 道路そのいの用水路が除雪作業のため一時洪水した場合にはお互いに協力して防ぐこと。
 - (5) 道路附近の空地へ一時雪を押し出す場合もありますからご協力下さい。
 - (6) 道路そのいに自動車等を放置しないこと。
- 除雪作業中において物件等の破損等もあると思われませんが、これらについての補償は致しませんのでご承知下さい。



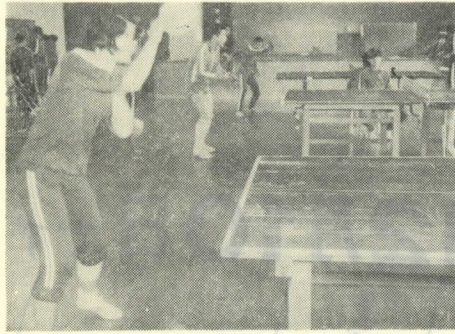
◇ 価値ある一票 価値ある人に

卓球大会(スポーツ)開かる

優勝は 中学の部 大納Aチーム 小学の部 下山チーム

十一月二十六日(日)村内スポーツ少年団対抗卓球大会が開催されました。日頃の練習の成果をうかがえる、上達したラケットさばきで熱戦が展開され、会場に当てられた朝日中学校と朝日小学校は終日軽やかな「玉の音」でにぎわいました。

- 成績次のおり
- 団体の部
 - 中学生 優勝 大納Aチーム
 - 次勝 大納Bチーム
 - 小学 優勝 下山チーム
 - 次勝 朝日チーム
- 個人の部
 - 中学男子
 - 優勝 前田 勉
 - 次勝 菅野 哲郎
 - 三位 江波 富士夫



中学女子

- 優勝 前田 晴美
- 次勝 藤沢 淳子
- 三位 比田 美幸

小学男子

- 優勝 谷 徹
- 五年男子 優勝 西 登紀雄
- 四年男子 優勝 沖村 邦雄

小学女子

- 優勝 加藤ひとみ
- 五年女子 優勝 谷 智恵美
- 四年女子 優勝 中村美根子

(写真は中学女子個人戦の二コマ)

除夜の鐘

十二月三十一日

大晦日の午前〇時に、各地の寺々でいっせいにつきならす「除夜の鐘」は「百八の鐘」ともいわれ、われわれ人間の心に果喰う百八のぼんのうを追い払うためとされています。

午前〇時までに百八突き終るといふ説と、午前〇時に突き始めるといふ説と、二つあるが、寺々によってちがうようです。

京都の知恩院では、十一時半から重さ一万八千貫(六七、五トン)高さ一丈八尺(約五、五メートル)直径九尺(約二、七メートル)という。日本一の大鐘をつき始めるが、これはテレビ放送の関係。ただし柱時計は鳴り始めたときがその時刻といえましょう。

人口一億突破

十二月二日

昭和四十五年の十二月二日、総理府は、この年行なわれた国勢調査(十月一日実施)の結果を発表したが、それによると、日本の総人口は一億三七〇万三五二二人(男五〇九一万五六八八人、女五二七八万七九四四人。但し沖縄を除く)で、前回四十年の調査より五四三万人(五、五%)増加しています。

また、世帯数も二七八五万二七四三世帯と、前回より一五、七%ふえています。一世帯当りの人員は三、七二人。都道府県別では東京が最も多く、以下大阪、神奈川県、愛知、北海道の順で最も人口の少いのが鳥取県、さて福井県は?、そして和泉村は?

もう一人の自分

昔々のお話です。

万月の夜、ある長者の屋敷に一人のどろぼうがしのび込みました。家人のね静まるのを待って、用意した袋に手あたり次第宝物をつめこみ始めました。

ふと人の気配を感じて身をふせました。しかし誰もやってくる様子がない、やれやれと起きあがると、向うの壁のあたりで確かに人影が動きました。あわててまた箱のかげに身をひそめしぼらくじっとしていましたが、だれもやってくるきません。でも箱の影から首を出すと、むこうでもやはりこちらを見てはいるではありませんか。どろぼう

村長選挙雑感

はとうとう宝物運び出すことができなくて夜明けとなり、家人につかまっしてしまいました。長者屋敷の中は、宝物ばかりで、とくに万月が鏡の役目をしていたのでした。

四年に一度の村長選挙は、村発足以来二度目の投票となり、しかも投票率(九五、五一%)が示すとおりの最大の選挙民の感心事として、兎にも角にも選挙は終了しました。

ヤレヤレと一服する間もなく今度は衆院選に突入、そして汽車の開通、オマケに昨年以上に早い雪のおとずれとは、いやはやテンヤワンの師走となりました。

ところで、村長選挙の結果数十名に上る選挙違反の続出には何ともいえないわびわびさを感じさせられます。選挙前からかくの批判があり、このままでは治まりそうでない様子を呈していました。しかし、巷間うわさのごとく村民総ぐるみの選挙違反という印象を与えられたことには善良なる選挙民にはいささか反発さえ感じさせられます。

俺は本当の明正選挙を実行した、と自他ともに豪語できる人も、前非を悔いている人も等しく村民であり、郷土を愛し、村の発展を望まない村民はいはずです。やった違反行為に対する批判は受けざるを得ませんが村民全体としては、謙虚にこれを受入れ、素直な気持ちで当面する衆院選から、ぞもたいものです。

人のうき

- 【出生】
 - 朝日 朝国 潔陽 学 而 長男
 - 朝日 田中 優子 武 男 長女
 - 下山 中村 美穂 登右衛門 長女
- 【婚姻】
 - 朝日 日 中山 由紀子
 - 福井市山手町 村田 憲三
- 【死亡】
 - 上大納 登 しま 七五才

あとがき

四年に一度の村長選挙は、いろんな問題をなげかけ、くすぶりながらも、ようやく終りをかけ、今また衆院選の投票日を迎えようとしています。